

4日から南相馬市自立研修所「ビーンズ」へ出勤しました。今回の派遣勤務を行うに当たり、じきに来るであろう東海大地震に活用できるような情報や震災から2年が経とうとしている今の時期の生活の状態、不安や、悩み、また、復興を目標に動いている現地の明るいニュースをお伝えできればと思っています。ビーンズでの業務では、研修生さんたちと楽しい時間を過ごす事はもちろん、この期間で学ぶ事を今後の小羊学園での業務に活かせるような充実な派遣期間にしていきたいです。

年始明け

では、まず早速4日ビーンズでの様子をご報告します。研修生さんたちとの会話で「4日になるのを楽しみにしていた。」「正月が長かった。」「お休みよりビーンズで働いている方が良い」と多くの研修生さんが言います。研修生さんたちのビーンズへの期待や楽しみ、働くという意欲の高さを感じ、休日の彼らの過ごし方にも興味を持ちました。

年初めという事もあり、今年目標を一人一人が発表をします。皆さんそれぞれ自分の目標を言いましたが共通している事は「仕事」に対しての目標を掲げていたという事です。そこでもやはり仕事に対しての意欲を強く感じます。

7日は特別な日課であり、ビーンズにラジオ福島の方が来られラジオの生放送が行われました。



↑生放送中の様子



↑コラボ商品「蹄鉄の壁掛け&マグネット」

放送の内容は福島市にある「もちづりワーク」と南相馬市自立研修所「ビーンズ」のコラボ商品についてです。もちづりワークでの商品の蹄鉄と「野馬追の里」として有名な南相馬市のビーンズでの商品であるさをり織りの布を組み合わせて作った壁掛けのセット商品になっています。「もちづりワーク」から利用者さんも来られ、研修生さんは少し緊張しているご様子でした。この商品は、震災地である福島県の復興を願い出来上がった商品であり、絆やつながりが生んだ商品と言えるでしょう。ビーンズさんももちづりワークさんも「新しい一歩を踏み出していく」という気持ちが伝わります

この商品は、震災地である福島県の復興を願い出来上がった商品であり、絆やつながりが強く感じる事のできる商品です。ビーンズさんももちづりワークさんも「新しい一歩を踏み出していく」という気持ちが伝わります